

ふれあい

令和3年9月 第423号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広報部)

事務局：大代地区公民館
TEL:022-364-8442
FAX:022-364-8453

【掲載目次】

- 防災キャンプを実施しました・・・・・・・・・・2
- 子どもコマ大戦 in 多賀城大会・・・・・・・・・・2
- 大代地区慰霊祭が行われました・・・・・・・・・・3
- 職員研修を実施しました・・・・・・・・・・3
- ブックレビュー・・・・・・・・・・4
- 秋祭りの中止について・・・・・・・・・・4

防災キャンプ

今年はデイキャンプで実施



大代地区慰霊祭

毎年8月20日に行われている
水難物故者慰霊祭です



防災キャンプを実施しました

8月6日(金)大代地区公民館において、防災キャンプを行いました。参加者は、東小の児童20人、東豊中生徒とジュニアリーダー10人、その他関係団体等21人、計51人でした。

実施した内容は、土のう作り、火おこし、ロープワークと簡単そうでなかなかできないものを体験しました。それぞれグループ毎に実施しましたが、中高生の存在は非常に大きいものでありました。重い土のうの持ち運びや知恵の輪のようなロープの結び方において補助者の役割を担い、子供たちに教えてあげるなど大いに活躍していただきました。

昼食は、コロナ禍であることから、調理をしないで食べられる保存食にしました。主食としてパック入りのドライカレーを食べてみましたが、一人一パックでは量が多いことから、概ね半分の量に分けて食べました。お湯を注いで15分、簡単にできるご飯ですが、美味しく食べることができ、ほぼ全員が完食しました。中にはおかわりをした子供もおりました。

防災キャンプは、子供たちが大いに楽



ジュニアリーダーの方と一緒にロープワークに挑戦しました

しみにしている事業であり、限られた時間ではありましたが、暑さを物ともせず伸び伸びと取り組んでおりました。閉講式では館長から労いと感謝の言葉があり、満足した表情で話を聞いておりました。最後に、暑い中本事業のためにご支援、ご協力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。今年も子供たちの元気な姿を見ることができ、大変嬉しく思っております。来年は、コロナも収まり例年どおり1泊2日の防災キャンプが開催されることを願っております。

(事業担当…高橋)

子どもコマ大戦in多賀城大会

8月7日(土)に、山王地区公民館において「子どもコマ大戦in多賀城」が開催され、終了後に3つの公民館(中央・山王・大代)の優勝者、準優勝者6名による決勝大会が行われました。

結果、大代から参加した遠藤幹己(もとき)君が優勝、佐藤啓翔(ひろと)くんが第3位となりました。大代大会は6月に開催され、2カ月の空きがありました。緊張した空気の中、両名ともとても頑張りました。おめでとうございます。



決勝大会で対戦する幹己君と啓翔君



優勝した遠藤幹己君

子どもコマ大戦は、毎年多賀城の3つの公民館で実施しており、一昨年から3館の優勝、準優勝者の決勝大会を開催しています（昨年度は新型コロナウイルスの影響で講座が中止となりました）。

講師は、岩沼にある株式会社岩沼精工の方々に、金属について学んだ後、特殊な機械をつかって金属のコマを作成。そのコマで専用の土俵を使用して勝負します。今年にはコロナ対策として、モニターで対戦の様子を観戦できるようにするなど工夫をしました。現在も感染が拡大している状況の中、対策を施しながらも事業を実施していただいた岩沼精工さんに感謝申し上げます。

大代地区慰霊祭が行われました

去る8月20日（金）午後3時より橋本橋西側特設会場において、「大代地区水難物故者慰霊祭」を開催いたしました。

祭典においては、午後の暑い中、西園寺ご住職様の納経と、多くのご参列の皆様から、お悔やみとご焼香を賜り、ご供養と地区民の安全を祈願していただき午後5時頃終了いたしました。

本年も、新型コロナウイルスは終息せず、昨年同様、感染予防の面から規模縮小し祭典のみの開催と致しました。

この開催にあたり、実行委員、並びに各地区の関係者各位のご協力をいただき実行することができました。これに対し御礼と感謝を申し上げます。



昨年に引き続き、今年も花火や灯籠流しは中止となりました

職員研修を実施しました

8月4日（水）、公民館、コミュニティ推進協議会、多賀城市の生涯学習課・地域コミュニティ課で職員研修を行いました。多賀城市地域経営コーディネーターの菊池広人氏を講師に招き、公民館の役割、指定管理について学びました。

「公民館の会報誌に住民が詠んだ憲法九条についての俳句を載せることができるか」「表現の不自由展を公民館で実施したいという申し出があったらどうするか」といった他県で実際にあった事例を用いながら参加者同士で話し合いました。政治・思想の公平性、表現の自由、住民の安全といった観点から各々が意見を出しましたが、今回の研修の趣旨は絶対的な回答を導き出すことではなく、多様な価値観を持つ人が住んでいるからこそ話し合いを重ねることの必要性を考えるとということでした。

今後、人口減少、グローバル化、技術の発展、災害、コロナ禍といった社会や地域状況が変化していくことに伴い、地域の中にある仕組みもその地域にあわせた形で変化していく必要がでてきます。そん

な中、変化に対応していくための学びを深めていく拠点が公民館なのです。

また、大代地区公民館は指定管理という公共施設を民間（大代の場合は住民）が管理する仕組みをとっているのです、より地域に根差した自由な運営をしていくことが可能です。島根県雲南市の波多という地区では、地区内の商店が閉店して買物が不便であったという状況から、交流センターの一角を活用して「はたマーケット」という住民が運営する小さなスーパーマーケットをつくりました。もちろん大代地区公民館にマーケットが必要だということではなく、肝心なのは地域に困りごとが生じ、それを解消するため自由な発想で住民自らが解決策を導き出したということなのです。

今回の研修では、こうした公民館の運営や地域づくりを行っていく上で大切なことを学びました。

ブックレビュー

オードリー・ヘップバーンの言葉

著者 山口路子
発行 大和書房

発行年 2016年（平成28年）

ブックレビューを書くにあたって、どんな本を選んだらよいか思案しながら多賀城市立図書館大代分室を覗いてみました。図書館職員の方に聞いてみるところ、8月～9月は「Stay beautiful」フェアを開催しているとのこと。背表紙を眺めてみるとどうやら【美しさ】【美容】に関する特集のようです。近年は性別に関係なくアンチエイジングや美容に気を使う時代。しかしその潮流は私には流れてこず「私にこうしたテーマの本は合うのだらうか」といった心持ちです。

そんな中、映画が好きというだけで手に取ったのが本書です。『ローマの休日』『マイ・フェア・レディ』などの名作映画に出演し、世界的スターとなったオードリーですが、多くの人を魅了するその美しさは単なる容姿に留まるものではありません。内面から溢れ出る気品、謙虚さ、芯の強さこそが美しさの秘訣なのです。本書ではオードリーの言葉とともにその生き方が語られます。たとえば「自分自身に対して100%率直になって、欠点から目をそらさずに正面から向かい合い、欠点以外のものに磨きをかけるのです。」という言葉が紹介されています。オードリー

もコンプレックスを持っていたわけですが、欠点を隠すのではなく長所を磨くことで皆が憧れる美しさを得たと言えます。どんなもの、どんなことに美しさを感じるかは人それぞれですが、人の生き方に触れるのも自分を磨くヒントになるかもしれません。



この書籍は多賀城市立図書館大代分室にありますので興味を持った方はぜひ読んでみてください。

多賀城市立図書館大代分室

開館時間：午前11時～午後5時

秋祭りの中止について

例年10月上旬に行われていました、大代地区コミュニティ推進協議会主催の秋祭りですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に引き続き本年も中止することにいたしました。